

## 【先駆的里山保全地区の選定】

石川県では、身近な自然である里山里海の利用・保全というアプローチを中心に、生物多様性の保全に取り組んでいる。

里山里海は、人が適度に手を入れること自体がその保全につながることから、地域で暮らす住民の取組が何より重要である。このため、住民が意欲的に里山里海の利用・保全に取り組んでいる地域の中から「先駆的里山保全地区」を選定し、地域住民が自発的に行う取組を重点的に支援。

### 概要

#### 1 先駆的里山保全地区（7地区）

- (1) 珠洲市三崎町<sup>こどもり</sup>小泊地区
- (2) 輪島市町野町<sup>かなくら</sup>金蔵
- (3) 能登町<sup>みやち</sup>宮地地区
- (4) 穴水町<sup>にんぎき</sup>新崎・<sup>しがうら</sup>志ヶ浦地区
- (5) 七尾市<sup>のとしま</sup>能登島<sup>ながさき</sup>長崎町
- (6) 羽咋市<sup>みこはら</sup>神子原地区
- (7) 白山市<sup>かみきなめり</sup>上木滑

#### 2 先駆的里山保全地区における目標

- ・ 生きもの調査、ビオトープづくりなど、自然環境の保全
- ・ 棚田の整備など、景観の保全
- ・ 農産物のブランド化、エコツーリズム（自然体験）など、里山の資源を活用した産業の創出

#### 3 目標の実現に向けた取組

- ・ 地域の活性化に向けた計画の策定
- ・ 里山里海の利用・保全のための仕組みづくり
- ・ 地域の魅力や取組の映像化
- ・ 里山景観の保全再生プランの策定

#### 4 県の支援

上記の取組を支援するため、1地区500千円を限度に助成（地元市町が同額助成、計1,000千円）

#### 5 今後の展開

「先駆的里山保全地区」は、里山里海の利用・保全に向けた仕組みづくりを推進するための場として選定したものであり、今後、これらの地区における取組の成果を「いしかわ型SATOYAMAモデル」として、県内の他の地域に普及展開していくとともに、COP10の場等を通じ、世界に向けて発信する予定。